



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場会社名 株式会社 ゴールドウイン

上場取引所 東

コード番号 8111 URL <http://www.goldwin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西田 明男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 二川 清人

TEL 03-3481-7203

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	24,086	17.2	404	—	821	36.7	680	79.2
24年3月期第2四半期	20,551	12.8	△120	—	600	—	379	—

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 657百万円 (△8.4%) 24年3月期第2四半期 717百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	11.59	11.54
24年3月期第2四半期	6.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	46,118	18,018	38.7	303.94
24年3月期	43,444	17,620	40.2	297.56

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 17,852百万円 24年3月期 17,446百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,500	10.0	1,700	50.3	2,700	△18.7	1,900	△27.3	32.35

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	58,962,218 株	24年3月期	58,851,218 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	224,303 株	24年3月期	218,068 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	58,688,286 株	24年3月期2Q	58,276,963 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に景気は緩やかな回復傾向にあるものの、欧州での金融不安等を背景にした円高・株安の長期化による景気下振れ懸念が依然払拭出来ず不透明な状況で推移しております。スポーツアパレル業界におきましても、個人消費の持ち直しなどの動きも見られるものの厳しい市場環境が続いております。

このような経営環境の中、当社グループ（当社、連結子会社および持分法適用会社）は当連結会計年度を最終年度とする中期経営計画に基づき、鋭意その遂行に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間においては、販売効率の改善や直営店舗を含む自主管理店舗の販売状況が堅調に推移したこと等もあり、売上高は前年同期比大幅な増収となり、損益面におきましてもそれぞれ前年同期比大幅に改善される結果となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高24,086百万円（前年同期比17.2%増）、営業利益404百万円（前年同期は120百万円の損失）、経常利益821百万円（前年同期比36.7%増）、四半期純利益680百万円（前年同期比79.2%増）となりました。

なお、当社グループの売上高は取扱商品の特性上、上半期と下半期の業績に季節的変動があるため、連結会計年度の上半期と下半期の売上高との間に著しい相違があります。

報告セグメントの概況は、次のとおりであります。

（アウトドアスタイル事業）

「ザ・ノース・フェイス」ブランドについては、通年型アウターやバック・ザック類の販売が順調であったこと、また直営店舗の新規出店および既存店の改装効果もあり、好調に推移致しました。「ヘリー・ハンセン」ブランドについては、アウトドアラインの本格展開が進捗し順調に推移しております。結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比11.3%増の10,676百万円となりました。

（アスレチックスタイル事業）

「チャンピオン」ブランドについては、直営店舗およびショップインショップなどのコーナーを通じた新ラインの拡販が順調に推移、また卸事業においても、ウオームアップ等の商材が前年に引続き好調に推移しております。「エレッセ」ブランドについては、UV関連商品およびゲームウエアの販売が堅調に推移しております。「スピード」ブランドについては、競泳系水着は市場低迷によりやや低調な推移となっておりますが、フィットネス系およびトレーニング系水着は堅調に推移し市場シェアを伸ばしております。なお、2011年11月1日付けでブラックアンドホワイトスポーツウエア株式会社の株式を取得し連結子会社化することにより新たにゴルフ事業に参入いたしました。同社を通じ「ブラックアンドホワイト」ブランドのゴルフウエア・カジュアルウエア等の展開を開始しております。結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比37.9%増の9,401百万円となりました。

（アクティブスタイル事業）

ウィンター関連商品の店頭立ち上げはほぼ例年並みに推移する一方、モーターサイクルウエアなどの通年型商品群が堅調に推移しております。また、自転車、バイクウエアは店頭の在庫調整等により前年割れをしております。結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比2.3%減の1,941百万円となりました。

（その他事業）

厚生労働省が定める「一般医療機器」の基準をクリアーしたコンプレッションアンダーウエアを主軸とする「C 3 f i t（シースリーフィット）」は商材を拡張し堅調に推移しておりますが、加齢臭と汗のニオイを大幅に減少させる素材『マキシフレッシュプラス』を採用した「M X P（エムエックスピー）」のアンダーウエア等は競合商品の増加により店頭消化が悪化しており販売調整を迫られております。また、ハイテックウエア事業も半導体産業の落ち込みにより引き続き厳しい販売状況が続いております。結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比4.0%減の2,066百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は46,118百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,674百万円増加しました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて2,276百万円増加し、28,099百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少942百万円はあったものの、借入金が3,153百万円増加したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて397百万円増加し、18,018百万円となりました。その結果、自己資本比率は38.7%となっております。

(キャッシュ・フローの状況に関する分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は4,913百万円となり、前連結会計年度末より78百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用したキャッシュ・フローは2,431百万円(前年同期は1,529百万円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益827百万円の計上があったものの、たな卸資産の増加1,527百万円や売上債権の増加976百万円および仕入債務の減少944百万円等があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用したキャッシュ・フローは490百万円(前年同期は605百万円の使用)となりました。主な要因は、定期預金の預入支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られたキャッシュ・フローは2,838百万円(前年同期は2,396百万円の獲得)となりました。これは主に、短期借入金の借入収入によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成24年11月9日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,798	5,729
受取手形及び売掛金	11,167	12,145
商品及び製品	8,884	10,483
仕掛品	108	78
原材料及び貯蔵品	688	648
その他	1,513	1,193
貸倒引当金	△20	△21
流動資産合計	28,141	30,257
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,786	1,737
土地	828	847
その他（純額）	980	1,009
有形固定資産合計	3,596	3,594
無形固定資産		
商標権	114	95
その他	815	726
無形固定資産合計	929	822
投資その他の資産		
投資有価証券	7,661	8,070
差入保証金	2,156	2,131
その他	1,289	1,568
貸倒引当金	△329	△326
投資その他の資産合計	10,776	11,444
固定資産合計	15,302	15,860
資産合計	43,444	46,118

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年 9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,011	12,068
短期借入金	646	4,656
1年内償還予定の社債	32	32
1年内返済予定の長期借入金	1,898	1,679
未払法人税等	139	127
賞与引当金	676	673
返品調整引当金	497	412
その他	2,280	2,486
流動負債合計	19,181	22,135
固定負債		
社債	36	20
長期借入金	3,093	2,455
退職給付引当金	2,145	2,266
その他	1,366	1,222
固定負債合計	6,642	5,964
負債合計	25,823	28,099
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,416	6,941
資本剰余金	94	3,620
利益剰余金	9,256	9,643
自己株式	△51	△54
株主資本合計	19,715	20,150
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59	△162
繰延ヘッジ損益	3	△1
為替換算調整勘定	△2,331	△2,133
その他の包括利益累計額合計	△2,268	△2,297
新株予約権	128	114
少数株主持分	45	51
純資産合計	17,620	18,018
負債純資産合計	43,444	46,118

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	20,551	24,086
売上原価	11,967	14,183
売上総利益	8,584	9,902
返品調整引当金戻入額	—	85
返品調整引当金繰入額	12	—
差引売上総利益	8,572	9,987
販売費及び一般管理費	8,692	9,582
営業利益又は営業損失(△)	△120	404
営業外収益		
受取利息	14	5
受取配当金	29	29
持分法による投資利益	830	492
その他	47	57
営業外収益合計	921	584
営業外費用		
支払利息	133	99
その他	66	68
営業外費用合計	200	167
経常利益	600	821
特別利益		
固定資産売却益	1	—
固定資産受贈益	—	26
その他	0	0
特別利益合計	2	27
特別損失		
固定資産処分損	0	7
店舗閉鎖損失	10	1
投資有価証券評価損	13	11
特別退職金	9	—
その他	7	0
特別損失合計	40	21
税金等調整前四半期純利益	562	827
法人税、住民税及び事業税	173	143
法人税等調整額	8	△3
法人税等合計	181	140
少数株主損益調整前四半期純利益	380	687
少数株主利益	1	6
四半期純利益	379	680

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	380	687
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23	△222
繰延ヘッジ損益	5	△5
為替換算調整勘定	11	17
持分法適用会社に対する持分相当額	343	180
その他の包括利益合計	337	△29
四半期包括利益	717	657
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	717	650
少数株主に係る四半期包括利益	0	7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	562	827
減価償却費	490	401
投資有価証券評価損益 (△は益)	13	11
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	102	120
のれん償却額	—	24
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△3
受取利息及び受取配当金	△44	△34
支払利息	133	99
持分法による投資損益 (△は益)	△830	△492
固定資産処分損益 (△は益)	△1	7
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,165	△976
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,967	△1,527
仕入債務の増減額 (△は減少)	823	△944
その他	△200	282
小計	△2,083	△2,202
利息及び配当金の受取額	906	34
利息の支払額	△140	△110
法人税等の支払額	△209	△153
その他	△1	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,529	△2,431
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△679	△670
定期預金の払戻による収入	169	367
有形及び無形固定資産の取得による支出	△145	△133
有形及び無形固定資産の売却による収入	4	—
投資有価証券の取得による支出	△2	△11
投資有価証券の売却による収入	1	8
貸付けによる支出	△45	—
差入保証金の差入による支出	△53	△73
その他	144	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△605	△490
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,010	4,009
長期借入れによる収入	1,000	200
長期借入金の返済による支出	△2,270	△1,056
社債の償還による支出	△16	△16
ストックオプションの行使による収入	—	127
配当金の支払額	△233	△293
その他	△93	△131
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,396	2,838
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	268	△78
現金及び現金同等物の期首残高	5,389	4,992
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,658	4,913

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年6月28日開催の定時株主総会において、今後の柔軟かつ機動的な株主還元策およびその他の資本政策等を実施できる体制の確保を目的とする無償減資について決議し、平成24年7月30日付で無償減資を実施したことにより、資本金が3,500百万円減少し、その他資本剰余金が同額増加しております。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アウトドア スタイル事 業	アスレチ ックスタ イル事業	アクティ ブスタ イル事 業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	9,594	6,817	1,986	18,398	2,152	—	20,551
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	4	0	9	170	△180	—
計	9,598	6,821	1,987	18,408	2,323	△180	20,551
セグメント利益又は損 失 (△)	1,282	△223	154	1,213	△46	△566	600

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハイテック事業およびコンプレッションアンダー事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,479百万円および持分法による投資利益830百万円が含まれております。なお、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アウトドア スタイル事 業	アスレチ ックスタ イル事業	アクティ ブスタ イル事 業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	10,676	9,401	1,941	22,019	2,066	—	24,086
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	0	8	11	198	△210	—
計	10,678	9,401	1,950	22,030	2,265	△210	24,086
セグメント利益又は損 失 (△)	1,261	△12	109	1,358	△35	△502	821

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハイテック事業およびコンプレッションアンダー事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,085百万円および持分法による投資利益492百万円が含まれております。なお、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。